

六

0
0
0
0
0
0

3-1688

0206

10/19/1915

此方

内務省警備衛生局
大連警察局長
面令上、同省ヨリ
大連府廳ニ移駐上
警備政務方取計
ハムコトニ打合セタリ
尚ほ現上ハ政令
ニテハハルニ趣令課
長注リタリ
(十月二十日 井上)

要再回

歐米局長

歐米局課

一九二五年十月十九日 於東京

ソウイテ、社会主義共産同聯邦大使館

東京
帝國外務省宛

ソウイテ、社会主義共産同聯邦大使館

外務省

譯者、新方紙上ニ公表セヨルハ、勿論、廣
告原文ニ對シテ、帝外務省ノ注意ヲ喚
起スルノ光景ヲ有ス。右ノ丸葉、中島の
征露丸ノ廣告ナル處、甚ハ、露國征討
露國倒滅、其他所ニ近々、高裁ヲ有ル
モノナリ
本大使館ニ、斯ノ丸葉ノ廣告ノ公表並假令
如何ニ種類ノ多ク、トモ、之ニ、斯ノ名

外務省

1

稱ラ附スノ事實自体が兩國間ニ設
 定セラル恒常ノ干渉的狀態ニ背反ス
 上思惟スルヲ以テ茲ニ帝ニ外務省ニ
 對シ斯ノ意見ヲ申シ止セシムルカ必
 要ナル措置ヲ執ラシムルヲ懇請ス尚ホ大
 使館ニ在任ニ事^務シ就^スルニ移シ
 通報ニ接センコトヲ希^フル也

外務省

3-1688

0208

AMBASSADE
DE L'UNION
DES RÉPUBLIQUES
SOVIÉTISTES SOCIALISTES.

Tokio, le 1925

✓ 231/803

附
屬
書
類
添
附

普
漢
受
洋
1925



L'Ambassade de l'Union des Républiques Soviétistes Socialistes a l'honneur d'attirer l'attention du Ministère Impérial des Affaires Etrangères sur le texte de l'annonce ci-inclue, publiée par le journal "Yomiuri". Cette annonce est la réclame des pilules "Seirogan Nakasima-no", ce que veut dire "expedition contre la Russie", ou "à bas la Russie" ou quelque chose de près.

歐
米
局

En estimant que la publication d'une telle réclame, ainsi que le fait même qu'un tel nom est donné à une marchandise de genre quelconque, est contraire à l'état des relations normales établies entre les deux pays, cette Ambassade a l'honneur de prier le Ministère Impérial de prendre des dispositions nécessaires aux fins de la cessation des tels procédés; elle espère d'être informée des mesures entreprises en cette direction.

Tokio, le 19 Octobre 1925.



Au Ministère Impérial
des Affaires Etrangères.

En ville

3-1688

0209

外務省文書課
受第 19 號
15.1.14

附屬書類添付

一四衛發第五〇七號

歐米局

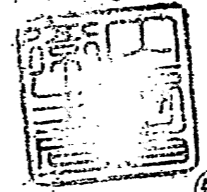
送込名 日下 守 洋 紙

大正十五年一月十二日

（印）

内務省 衛生局

外務省 歐米局 御中



賣薬征徴丸ニ關スル件

大阪市天王寺區下寺町四丁目中島佐一ノ發賣ニ係ル賣薬征徴丸ノ名稱變更ニ付貴局員來省御依頼ニ依リ大阪府知事へ照會候處別紙寫ノ通回答シ來リ名稱變更ハ困難ト被存候條右御諒承相成度

（右側印字用紙和紙俵放置カ内務省）

3-1688

0210

衛親第一五二号

大正十四年十二月廿一日

大阪府知事

内務省衛生局長宛

賣藥征露丸ニ関スル件

本年十月廿三日衛發第五〇七号ヲ以テ御照会ニ係ル
 賣藥征露丸ノ名稱変更ニ関スル件ヲ承容月十一日本人
 召喚ノ上御照会ノ趣旨ニ鑑ミ嚴重論達致候處本人ノ
 賣藥セル賣藥ハ忠勇征露丸ト稱シ明治四十年六月廿日
 ニ於テ免許ヲ與ヘタルモノナルカモヨリ先既ニ征露丸
 名稱ヲ付シ賣藥ヲ賣賣セルモノニ鳥栖製剤台資会社

ナルモノアリ合社ハ佐賀縣三養基郡島栖町ニ在リ
 明治廿八年九月二四二〇八号ヲ以テ合社ハ佐賀縣九ノ商標登
 録ヲ得タル趣ナリ然レニ前叙中島ノ商標セル忠勇佐
 露丸ハ尔末次販路ヲ擴張シ藥業者寫ニ多ク其ノ名ヲ
 知ラルニ至リタル爲メ該名稱確保ト前叙合社カ有スル
 商標權ノ分權ヲ獲得スルノ必要アリトシ再三合社ニ交渉
 ノ結果大正十一年九月金壹萬二千五百圓ヲ合社ニ交付ス
 ルノ契約ノ下ニ其ノ目的ヲ達シ以テ今日ニ及ヒタルモノニシテ
 現今ニ於テハ其ノ販路相当廣ク其ノ生産年額約十
 万餘圓ニ達スル趣ナリ本賣藥ハ叙上ノ経緯ヲ有スルモノ
 ナルヲ以テ今直ニ其ノ名稱ヲ変更スルハ當業者ノ類ハ
 苦痛トスル所ニシテ殊ニ前叙合社トノ關係アリ旁独断
 ニテ諾否ヲ決シ難トシテ密以テ未佐賀縣ニ趣キ右合社

協誠中ノ廠項者帰阪出頭ノト申立ワルトコニ依リ該
 合社ニ對シテハ未タ其ノ筋ヨリ何等ノ交渉ナク從テ合
 社ハ本件ニ関シ未タ其ノ態度ヲ決シ居ラサル際トテ遂ニ協
 議纏ラスシテ帰阪セル趣ニテ依然諾否ヲ決セス事情叙ト
 通テルヲ以テ諭旨シテ之カ名稱ヲ変更セシムルハ相當困難ト
 認メラハルモ強テ実行セシムトセハ先ツ前叙合社ニ諭達
 シ合社ニ於テ承諾セムカ自然中島ニ之ニ從フモノト被存係
 合社所在地管轄地ヲ長官ニ申内達ノト其ノ結果申回報
 相煩度存及回答云々也

歐米局長

送

東洋通商

日露

日露英係種

日露

征露丸ニ肉スル件

(長山聴)

大正十五年七月十四日 内務省衛生局大達 医務課

長ヲ訪内シ七月十日大改朝日新聞ニ掲載セラルル征露

丸ナル高標ヲ大富院ニ於テ無效ト判考セラルル結果内務

省ニ於テ今後斯ル名称ノ愛護ヲ許サズルコトニ決スルハ

事ニ関シ向今モ未ダ内務省ニテハ後判決ノアリタルヲ

(乙) 號用紙 (圓筒)

実ヲ知ラズルニ便ニ在リ可矣ナトモ同省ニ於テハ別ニ本

件賣却任認丸ノ免許ヲ取消ス意圖ヲ有スル

モノアリテ實際ニ其業ヲモテ後考以藥名ヲ继续使用

スルコトナシキハトノ回答アリタリ

本日特許局川部事務長ヲ訪内シ高標征露丸

ノ成行ヲ尋ねテ未ダ特許局ニ於テハ本高標ニ不降出義

ニ及レ秩序ヲ紊ルル虞アルコトニ於テ高標ノ登録ヲ無効

外務省

(乙) 號用紙 (圓筒)

外務省

3-1688

0214

(乙) 號用紙 (圖納)

トスル大正十一年一月六日審決云々次方たカ大審院ニ
 上告セシタル事曰最近矢張り本商標ノ登録ヲ無効ト
 スル旨判決アリ申訴一件被告カ大審院ヲ回送セ
 ザルヲ以テ判決理由ハ此カモ判ハセハ由ラスニ
 本商標ノ登録無効ニ確定見結果ニ商標トシ
 テノ權利ヲ主張シ得ザルナリナルカ方テ何人カ此ヲ使用スルモ
 是カモ事下ニ見ナリ、而シニ肉聯ニ最近●仮名ニ

外務省

(乙) 號用紙 (圖納)

カセイロカニトナセ商標ノ出願アリタルヤニ記憶ス
 此ト回送アリテ

外務省

3-1688

0215

文書課長印

文書課發送

手
シ方書

要綱譯(佛)

要再回

文書課長印
公文書
別紙
44
44
正校原稿(甲)及(淨書)小書
(甲)號用紙

主 管 歐米局長
主 任 歐米局長課
號 大正 大正五年 拾月拾五日 附
附 屬 書 通

受 信 在 本 邦
人 名 ソコト 聯邦大使館

件 名 (賣藥、征露丸)
名 込 綴 日 露 (拜)

日本帝國外務省ハ千九百二十五年十一月十九日附以テ

在東京ソコト聯邦大使館ヲ中裁アリシ、征露

丸ナル藥名件ニ因リ當時關係官廳ニ通報致

(乙)號用紙(圓筒)

ニ置キタル次第アルニ、皇ニ本年一月廿日特許局ニ於テ
 本件「征露丸」ナル商標ノ使用ハ、公認ノ通義ニ及ビ
 秩序ヲ紊ルノ虞アルモト認テ、其ノ商標ノ登録ヲ毎數
 トスル旨官憲決セリ。次テ本年六月廿八日大審院ニ於テ最
 終的判決ニ依リ「征露丸」ニ確定セラレタリ、其ノ
 結果本件賣藥ノ及賣者ハ之ヲ「親露丸」ト改稱
 且本年十月廿九日大阪朝日新聞紙上ニ別添切

外 務 省

乙 號用紙 國納

按如キ廣告文ヲ掲載スニ至トリ

帝ノ外務省ハ右ノ趣ノ旨ニ上縣邦大使館ニ通

報スルノ充實ヲ存ス

別添ノ執照丸ニ因テ新聞紙
按其係し係付ノ下

外務省

3-1688

0217

翻譯者

主任

翻譯課

長

En se référant à la note, du 19 octobre 1925, relative au médicament primitivement appelé "Seirogan", le Ministère Impérial des Affaires étrangères a l'honneur de faire savoir ce qui suit à l'Ambassade de l'Union des Républiques Soviétistes Socialistes:

Le Ministère compétent avait été saisi sans retard de cette affaire. En date du 6 janvier dernier, le Bureau des Brevets d'invention a pris une décision selon laquelle l'enregistrement de la marque de commerce "Seirogan" est frappé d'annulation, attendu qu'à son avis, cette marque contreviendrait aux règles de la courtoisie internationale et serait, au surplus, contraire à l'ordre public.

Par un arrêt du 28 juin dernier, la Cour de cassation a confirmé cette décision, qui est ainsi devenue définitive.

A la suite de cet arrêt, les fabricants ont modifié le nom de leur produit en le désignant sous celui de "Shinrogan".

Vu C. S.

Cette mesure a fait l'objet d'une publication dans l'"Osaka Asahi" (numéro du 29 octobre dernier), dont l'Ambassade voudra bien trouver une copie sous ce pli.

Tokio, le 15 novembre 1926.

海軍省 衛生部 衛生課

大正十四年抗告審判第三號

審決

大正十四年十一月六日判決

大正十四年十一月六日判決

大阪府南區天王寺勝山通三丁目十八番地 日本製藥株式會社
抗告審判請求人 大 國 庄 司
代 表 者 大 國 庄 司

同 市南區北橋谷町二十五番地 重 吉
抗告審判請求人 重 吉
代 表 者 重 吉

同 市北區天神橋筋二丁目二十番地 三 郎
抗告審判請求人 三 郎
代 表 者 三 郎

同 市北區網笠町十五番地 一 郎
抗告審判請求人 一 郎
代 表 者 一 郎

同 市北區澤上江町二丁目八番地 乙 次 郎
抗告審判請求人 乙 次 郎
代 表 者 乙 次 郎

同 市南區下寺町四丁目四百七十五番地 中 島 清 二
抗告審判請求人 中 島 清 二
代 表 者 中 島 清 二

同 市東區北濱二丁目九十四番地 邦 太
抗告審判請求人 邦 太
代 表 者 邦 太

同 市東區北濱二丁目九十四番地 江 田 邦 太
抗告審判請求人 江 田 邦 太
代 表 者 江 田 邦 太

同 市東區北濱二丁目九十四番地 渡 邊 昇 治
抗告審判請求人 渡 邊 昇 治
代 表 者 渡 邊 昇 治

右當事者間左第三四二〇八號商標登錄無効審判請求事件ニ付大正十三年十一月二十八日當局ニ於テ爲シタル審決ニ對シ抗告審判ノ請求
ヲ爲シタルニ依リ審決スルニ左ノ如シ八ノ頁附ク
主文ニ原審決ヲ破棄スルニ決ス

本件第二四三〇八號商標ノ登録ハ之ヲ無効トス
審判及抗告審判ノ費用ハ抗告審判被請求人ノ負擔トス
○八號商標ニ對シテ原告審判被請求人ハ主文及如左審決ヲ求メ申立其ノ理由ハ本件登録商標ハ「征露丸」ニテ文字ヨリ或ル
モナルモ「征露丸」ナル文字ヨリ或ル標章ハ本件登録商標ノ出願前々「オソト」ヲ主劑トシ「ル丸藥」ヲ慣用セラレタリ「征露丸」ナル
稱呼ハ「クレオソト」九ノ普通名稱ト成リタルヲ以テ特別顯著性ヲシ本件商標登録ノ際ハ日露間ノ平和克復セルヲ以テ「征露丸」ナル
呼ハ國際間ノ通義ニ反シ本件登録商標ハ公序ヲ紊リ舊商標法第二條第三號前段ニ依リ無効タルヘキモ「オソト」本件登録商標ハ軍務當局
カ「クレオソト」ヲ主劑トセル丸藥ニ附シタル名稱ヲ假借シテ清涼丸劑ニ使用シ且現ニ使用セラレタルハ第四號段ニ徵シ明ナルヲ
以テ一面ニハ商品ノ出所ニ關シ他面ニハ商品其レ自體ニ於テ世人ヲ欺瞞スルモ行カズ故ニ舊商標法第二條第三號後段ニ該當シ無効ナ
リト謂フニ在リテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シ本村宗太郎外六名ヲ證人訊問シ申請セリ茲ニ該當シ
抗告審判被請求人ハ抗告審判請求人ノ申立相立タス抗告審判費用ハ抗告審判請求人ノ負擔トシテ審決ヲ求ムト答辯シ其ノ理由ハ要領
ハ本件登録商標ト同一ナル標章カ其ノ出願前當業者間ニ廣ク使用セラレタル事實及「征露丸」ナル名稱カ藥劑ノ普通名稱トナリタル
事實ハ之ヲ認ムルコトヲ得ヌ又本件登録商標ハ登錄當時ニ於テハ登錄モラズモ理由有シタルモ之ヲシテ其ノ後變化シタル事情ニ依
リ登録ノ有效無効ヲ決スヘキモノニ非ス尙舊商標法ニ所謂世人欺瞞ノ標章トハ標章自體カ世人ヲ欺瞞スル處アルモノヲ指スモノニシテ
本件登録商標自體ハ斯ノ如キモノニ非サルカ故ニ抗告審判請求人ノ主張公何等其ノ理由トシテ謂フニ在リ
審決ノ理由 本件第二四三〇八號登録商標ハ「征露丸」ノ文字ヨリ或ル第一類丸藥ヲ指定商品トシテ明治三十八年六月十九日出願同年
九月八日登録アリタルモノナリ本願商標ハ日露戰役中ノ出願ニ係リ露西亞列征伐ヲ旨シテ意味有スルモノニシテ日露間ノ平和ハ明治三
十八年九月五日克復セラレ其ノ後本願商標ハ登録アリタルモノナルカ故ニ之ヲ商品表彰ノ標識トシテ使用セラレトモ其ノ登録當時ニ於
テモ即チ國際間ノ通義ニ反シ秩序ヲ紊ルノ虞アルモノト認ム從テ其ノ登録ハ舊商標法第二條第三號ノ規定ニ違反シテ爲サレタルモノナ
ルカ故ニ商標法第四十二條及舊商標法第十一條ノ規定ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキ事由ノ存スルコト前記ノ如クカ所以上之ヲ説明ヲ加スルハ要ヲ認メヌ
仍テ主文ノ如ク審決ス
大正十五年一月六日於特許局
審判長 特許局事務官 原 田 俊 九 吉
特許局事務官 鹽 谷 狩 野 吉
大正十四年九月廿二日

<p>二</p>	<p>1715</p>	<p>歌本高第</p>	<p>可物事持長 嵩山 一 二 飯</p>	<p>抄本 由 櫻 齋</p>	<p>是の抄本出 物成 取 高 櫻 齋 傳 決 動 請 亦 事 体 判 決 書 中 送 入 申 上 之 名 申 登 妙 之 事 申 上 申 上</p>	<p>天正四年十月廿一日</p>	<p>寺 并 司</p>
----------	-------------	-------------	-----------------------	-----------------	--	------------------	--------------

3-1688

0221

大正十五年(未)第一九三號

判決

佐賀縣三養基郡鳥栖町大字鳥栖八百九十五番地

上告人 鳥栖製劑合資會社

代表社員

右法律上代理人 藤 清

大阪府南區下寺町四丁目四千五百七十五番地

上告人 中 島 佐 一

辯護士

右訴訟代理人 名 合 孟

辯護士

成 鶴 澤 總 明 夫

辯護士

大阪府南區天王寺藤山通三丁目十八番地

被告 日本製藥株式會社

取締役

右法律上代理人 吉 田 德 明

辯護士

大阪府南區北桃谷町二十五番地

被告 平 田 重 吉

辯護士

大阪府北區天神橋筋二丁目二十番地ノ一

同 梶 原 義 三 郎

辯護士

右訴訟代理人 清 瀬 一 郎

辯護士

右當事者間ノ商標登録無効請求事件ニ付特許局カ大正十五年一月六日與ヘタル審決ニ對シ上告人ヨリ全部破毀ヲ求ムル申立ヲ爲シ被告
人ハ上告棄却ノ申立ヲ爲シタリ

主 文

本件上告ハ之ヲ棄却ス

上告費用ハ上告人ノ負擔トス

理由

上告論旨第一點ハ原審決其ノ理由中ニ於テ「本願商標ハ日露戰爭中ノ出願ニ依リ露西亞ヲ征伐スルノ意味ヲ有スルモノニシテ日露間ノ平和ハ明治三十八年九月五日克復セラレ其ノ後本願商標ノ登録アリタルモノナラザルニシテ其ノ商品表彰ノ標識トシテ使用スルコトハ其ノ登録當時ニ於テモ既に國際間ノ通義ニ反シ秩序ヲ紊ルル虞アルモノト認ム」ト説明シタルトモ日露戰爭當時存在シタル露國ハ既に消滅シテ現在ハ「ソグイェト」社會主義共和國聯邦ト稱シ全然國體ヲ異ニシ名稱ヲ異ニス即現在ニ於テハ假令露國ヲ征伐スルトイフモ何等國際上ノ通義ニ反スルモノニアラス若シテ露國ノ消滅シタルハ大山巖公其ノ他國家ノ元勳カ署名シタル堂々タル「征寇紀念碑」カ公園其ノ他公衆ノ面前ニ巍然トシテ樹立スルハ如何ノ之ヲ日露國際間ニ修交ニ害ナシトスルモ何ラ苦シテ九葉ノ名稱ニ付テ國際間ノ通義ニ反スルトイフヘキヤ殊ニ公園其ノ他ノ紀念碑ハ世界漫遊ノ外國人モ之ヲ觀ルコト少シトセザルヘキモ本件九葉タル賣場「征寇九」カ同シ程度ニ好ク外國人ニ嗜好セラレタリトノ事實ヲ聞キタルコトナシ然ラバ本件ヲ判示スルニ國際間ノ通義ニ反スルトイフハ擬律錯誤ノ違法アルモノナリト言ハサルヘカラスト云ヒ」同第二點ハ舊商標法第二條ハ「左ニ掲ク商標ニ付テハ之ヲ登録セシメト規定シ其ノ第三號ニハ「秩序若ハ風俗ヲ紊リ又ハ世人ヲ欺瞞スルノ虞アルモノ」ト規定シタル其ノ「秩序ヲ紊ル」トイフハ其ノ商標ノ存在カ國家ノ秩序ヲ紊ル場合ヲ謂フモノニシテ從テ舊商標法第十一條ニ於テ審判ニ依リテ之ヲ無効トナスヘキコトヲ認メタルハ其ノ審判ニ於テ既ニ其ノ商標ノ存在カ具體的ニ斯ノ如キ秩序ヲ紊ラタル事實アルコトヲ主張シ且立證セザルヘカラスト法理ナリトス然ルニ本件ニ於テハ原審說明中ニ於テモ之ヲ認メ得ヘキカ如キ主張及立證ナク却テ本願商標ノ登録ハ日露戰爭終了後ニシテ而カモ原審裁決ニヨリテ本願商標ノ登録ヲ無効トセラレタル大正十五年一月六日ニ至ル迄何等我國ノ秩序ヲ紊リ若ハ露國其ノ他ノ外國ヨリ抗議ヲ受ケタル事實ナシ然ルニ露國モ既に滅亡シテ現ニ之ト全ク國體及政策ヲ異ニセル「ソグイェト」社會主義共和國聯邦カ存在スルニ至リタル現時ニ及テ國際通義ニ反スル理由ヲ以テ之ヲ無効ト審決スルハ明ニ舊商標法第二條及第十一條商標法第四十二條ノ規定ノ趣旨ヲ誤リタル違法アルモノニシテ到底破毀ヲ免レザルモノナリト信スト云ヒ」同第六點ハ日露兩國交際絶シ互ニ仇敵タルノ當時征寇九ナル名稱ヲ商標ニ用ヒシ之ヲ使用スルハ露國國際ノ通義ニ反スルコトナキハ叙上ノ如シ而シテ明治三十八年十月十四日條約批准セラレ平和克復後二十年以上ヲ經過シ期間更新ノ登錄モ完結セリ萬國工業所有權同盟條約第六條第三項第二號ニハ「標章ノ特許顯著ナル性質ヲ判別スルニ當リテハ事實上一切ノ事情殊ニ標章ノ使用期間ヲ斟酌スヘシ」トアリ此ノ規定ハ同項第三號ノ道德又ハ秩序ニ反スル標章ナルヤ否ヲ判別スルニ當リテモ性質上當然準備セザルヘキモノニシテ即本件商標カ果シテ國際ノ通義ニ反スルヤ否ヲ審査スルニ當リテハ必スヤ右本件商標カ二十年以上繼續シテ使用セラレタル事實ヲ考慮參酌セザルヘカラスト筋合ナリト云ハサルヘカラスト然ルニ原審裁決此ノ事實ヲ無視シ右條約ヲ依據セス一言ヲ以テ國際ノ通義ニ反スルニ獨斷シ去リタルハ理由不備ノ違法アルモノトスト云フニ在リ然レドモ露國ハ今日ニ於テ「ソグイェト」政府トナリタルモ其ノ國家ハ依然存續スルモノニシテ征寇九ナル名稱ハ此ノ露國ヲ征伐

スルノ意義トモナルベク今日ニ於テモ之ヲ商標トシテ商品ニ使用スルニ國際ノ通義ニ反シ秩序ヲ紊ルモノト謂ハサルヘカラスト故ニ日露戰爭後三十餘年ヲ經過セルノ事實ニ依リテハ該商標カ秩序ヲ紊ラサルモノト論スルヲ得然ラバ本件商標登録ヲ無効ト爲シタル原審決ハ不法ニアラス又立證責任ヲ轉倒シタルモノニ非ス尙上告人ノ主張ニ對シ判斷ヲ遺脱シタルモノニ非ス仍テ上告論旨ハ就レモ理由ナシ

上告論旨第三點ハ日露間ノ明治三十七八年役講和條約同三十八年九月五日「ボトスマス」ニ於テ締結セラレタリト雖其ノ批准ノ完結セルハ同年十月十四日ナリト以テ所謂平和克復ノ日ハ同日ナルカ故ニ本件商標登録ノ日タル同年九月八日ハ未タ交戦中タルコトヲ失ハス此ノ故ニ假令本件商標カ露西亞ヲ征伐スルノ意味ヲ有スルモノトスルモ商品表彰ノ標識トシテ之ヲ使用スルハ其ノ登録當時ニ於テ露國國際ノ通義ニ反スル秩序ヲ紊ルル虞アリシモノニアラスト云ハサルヘカラスト然ルニ原審裁決日「ボトスマス」條約締結ノ日即明治三十八年九月五日ト斷定シタル結果ニ其ノ登録當時ニ於テモ既に國際間ノ通義ニ反シ秩序ヲ紊ルル虞アルモノト認ム」ト審定シタルハ平和克復ノ日時ヲ誤解シタル違法アルモノト信スト云フニ在リ然レドモ既ニ明治三十八年九月五日ニ於テ日露兩國間ニ講和條約ヲ締結セラレタル以上ハ未タ批准交換ニ至ラズト雖近ク兩國間ニ平和ノ克復セラレヘキ狀況ニ在ルモノト謂フコトヲ得ヘキヲ以テ此ノ際ニ於テ露國ヲ征伐スルノ意義ヲ有スル商標ノ登録ヲ爲スハ國際ノ通義ニ反シ秩序ヲ紊ルモノト謂ハサルヲ得故ニ原審裁決明治三十八年九月八日ニ爲シタル本件商標登録ヲ無効ト審判シタルハ結局相當ニシテ上告論旨ハ理由ナシ

上告論旨第四點ハ商標無効審判ノ目的ハ登録査定ノ當否ヲ審査スルニアリテ査定ノ結果タル登録自體ノ當否ヲ審査究明スルヲ目的トスルモノニアラザルコトハ商標ノ出願ニ對シ審査ノ制ヲ設ケ或ハ之ヲ許可シ或ハ之ヲ拒絕スルニ査定ノ形式ヲ要求セル商標法ノ精神ニ徴シ極メテ明ナル處ナリトス而シテ登録査定ノ當否ハ登録査定ノ日時ニ於ケル査定ノ當否ヲ審決スルモノニシテ登録ノ日時ニ於ケル査定ノ當否ヲ審査スヘキモノニアラザルコトハ自明ノ理ナリ然ルニ登録査定ノ日時ト登録ノ日時ト間ハ通常數十日ヲ要シ秒クモ一週間乃至十日ヲ下ル能ハザルモノナルコトハ實際上顯著ナル事實ナルカ故ニ本件商標登録査定ノ日時ハ今之ヲ明ニスル能ハスト雖秒クモ明治三十八年八月末日以前ナリシコトハ甚タ明確ナリト曰ハサルヘカラスト然ラバ即本件商標登録査定ノ當時ハ「ボトスマス」條約成立以前ナルコト疑ヲ容ルル餘地ナキカ故ニ平和克復ノ日ハ明治三十八年九月五日即講和條約締結ノ日ナリトスルモ登録査定當時ニ在テハ明白ニ交戦中ナルヲ以テ之ヲ商品表彰ノ標識トシテ使用スルハ露國國際ノ通義ニ反スル秩序ヲ紊ルル虞アリシモノニアラス然ルニ原審裁決其ノ理由ニ於テ「其ノ登録當時ニ於テモ既に云々」ト審示シ登録ノ日時ニ於ケル査定ノ當否ヲ審決セルハ無効審判請求ノ本質ヲ誤解シ且査定ノ日時ト登録ノ日時ト混同シ之ヲ區別セス査定ノ日時ニ於ケル査定ノ當否ヲ審査スヘキ本件ノ場合ニ登録ノ日時ヲ標識トシテ査定ノ當否ヲ決シタル違法アルモノナリ秒クモ事實ノ認定徹底セズ理由不備ノ違法構成セルモノナリト云フニ在リ(第六三〇號參照)ト云フニ在リ

朝

大正朝新聞

大正丁丑年

十月廿九日

肺ろくまく胃腸恐れれば
主人方の知らず

親露丸

本館 大正朝新聞 札幌支店 電話二二三三

大正朝新聞社 札幌支店 電話二二三三

大正朝新聞社 札幌支店 電話二二三三

AMBASSADE
DE L'UNION
DES RÉPUBLIQUES
SOVIÉTISTES SOCIALISTES.

Tokio, le _____ 192__

255/1520.

外務省文書課
受第209號
15.11.17.

征露九一件ニ関スル謝意申上件

歐米局長

銀込名
日
和
陸



L'Ambassade de l'Union des Républiques
Soviétistes Socialistes a l'honneur d'accuser
au Ministère Impérial des Affaires Etrangères
réception de sa note en date du 15 cour., concernant
l'annulation de la marque de commerce "Seirogan"
par les autorités compétentes du Japon.

Elle exprime sa satisfaction de cette
solution de l'affaire en question et remercie le
Ministère Impérial de son aimable assistance.

Tokio, le 18 Novembre 1926.



Au Ministère Impérial
des Affaires Etrangères,

En ville.

3-1688

0226

中島の征露丸

■常識ある貴下の参胸の
 ハロイターに
 ■かけて他薬と比較研究
 して見てください

征露丸は、日露戦争時、日本の軍醫として方陣せ
 られた中島佐一博士の生業を以てして、中島
 の征露丸は、日露戦争時、日本の軍醫として方陣せ
 られた中島佐一博士の生業を以てして、中島
 の征露丸は、日露戦争時、日本の軍醫として方陣せ
 られた中島佐一博士の生業を以てして、中島

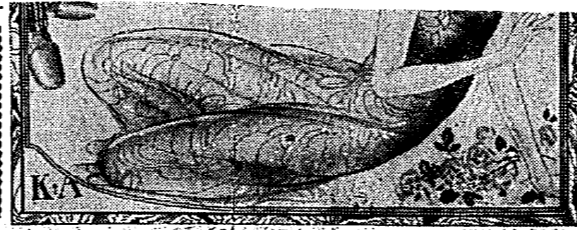
主治効能
 急性慢性胃腸炎、消化不良、嘔吐、下痢、嘔吐
 食傷、腹痛、便秘、消化不良、嘔吐、下痢、嘔吐
 食傷、腹痛、便秘、消化不良、嘔吐、下痢、嘔吐
 食傷、腹痛、便秘、消化不良、嘔吐、下痢、嘔吐

本舗 中島佐一薬房
 東京市王子区下町四丁目
 電話 五三二番

吉田百助作
浅野 薫畫

たへ起つたとは言へ、今は彼
女の手より抱れ行かんと思はなき
す。可愛い、小鳥のやうな髪を
持つて居るのだ。言が手を離れ
大空の彼方へ、鶴の小鳥は飛び行
くとも、言が鶴に縋めし、甘き過去
の思ひ出は何れして飛び去るもの
ぞ、如何にして消え去るものぞ
最後のお別れです。

私の後のお別れです
十分位の時をお與へ下さい
私は必ず言の跡を足を得
るやうな勇気を致します



よつし十分間
お別れなす
言の跡は、鶴の跡になつた
定雄は、定雄、衣にきよみ
捨太郎と定雄に、三人の影は目
しなから、おすれの言も、おすれに
次の時へと行つた。

捨太郎は、彼を追はんとした
「可愛いな、捨太郎！定雄は、静
かだ、下僕の跡を助へた。
無言で、主人を見上げた捨太郎
の眼は、彼の逃げ去るを、確れる
やうであつた。
定雄は、一目見て、彼の心の内
を讀み知る事が出来た。鶴の跡の
跡をたゞきながら、

少しは人に知られた女だ
今更事に逃げかくれも
静かに跡を持ってやれ
捨太郎は、是非なく、主人の命
に従つた。

一募集
短歌 若山 秋水
俳句 内藤 梧雪
川柳 高木 蘭房

集募券債産殖鮮朝回八十四

利 乘 募 拂 申 申 利 債 發 利 債

束 髪
新製
東京 新製
兄弟 専 業
電話 三三三三

ロイマチス
神経痛関節炎
特に慢性関節炎

リピー
◎ 確 自
◎ 新 自
◎ 安 全

内地牛肉罐詰
最少限の輸
新製 罐 具
日本橋 橋
市内信用あり



登録商標中島の
征露丸の
名稱に就いて

征露丸の名稱は、
一、中島が、
二、征露丸の
三、中島の
四、征露丸の
五、中島の
六、征露丸の
七、中島の
八、征露丸の
九、中島の
十、征露丸の
十一、中島の
十二、征露丸の
十三、中島の
十四、征露丸の
十五、中島の
十六、征露丸の
十七、中島の
十八、征露丸の
十九、中島の
二十、征露丸の
二十一、中島の
二十二、征露丸の
二十三、中島の
二十四、征露丸の
二十五、中島の
二十六、征露丸の
二十七、中島の
二十八、征露丸の
二十九、中島の
三十、征露丸の
三十一、中島の
三十二、征露丸の
三十三、中島の
三十四、征露丸の
三十五、中島の
三十六、征露丸の
三十七、中島の
三十八、征露丸の
三十九、中島の
四十、征露丸の
四十一、中島の
四十二、征露丸の
四十三、中島の
四十四、征露丸の
四十五、中島の
四十六、征露丸の
四十七、中島の
四十八、征露丸の
四十九、中島の
五十、征露丸の

征露丸の名稱に就いて
大正十四年十一月十八日

朝

大政毎日新聞

大正十四年十一月十八日

